

I 学校の概要（立地状況等含む）

本校は出水市の北部にあり、不知火海に浮かぶ島々を一望できる高台に位置している。山の斜面近くの集落も校区に含まれ、平成7年7月には、本校児童の尊い命が奪われた針原土石流災害が発生した。

(2) 避難訓練の実際



【土砂崩れ発生 of 想定で避難する場面】

II 避難訓練の取組の概要

1 取組の内容、方法等

- (1) あらゆる災害に対する備えを行うために各種避難訓練等を数回行っている。具体的には、自治会ごとの集合訓練(学期1回ずつ)、引き渡し訓練、針原災害の日避難訓練、地震・火災避難訓練(年2回)、予告なし避難訓練である。
- (2) 各種避難訓練については、毎年、見直しを行っている。例えば、引き渡し訓練は、体育館が出水市の総合避難場所となり使えなくなることを想定して、A案(体育館での引き渡し)とB案(教室での引き渡し)を隔年で実施していくようにしている。



【訓練の振り返りと針原災害犠牲者への黙とうの場面】

2 避難訓練の内容とねらい

- (1) 地震、火災、予告なし避難訓練等災害時等に、安全かつ速やかに指示された集合場所へ移動できるようにする(園児・児童)。
- (2) 引き渡し訓練
児童の安全確保、誘導の仕方などを理解し、速やかに保護者に引き渡しが行えるようにするとともに、児童を迎える際、どのような手順で引き取り下校するか確認をする(教師・保護者)。

3 避難訓練実施までに工夫したこと

- (1) 幼稚園を併設する本校においては、幼稚園児も一緒に避難する引き渡し訓練としている。
- (2) 日頃から、①発達の段階に応じたKYTトレーニングを実施、②放送が鳴ったら無言で聞く指導、③自治会名簿の変更時の整備等を行っている。
- (3) 新聞等を活用して、地震や火災、風水害の恐ろしさや災害発生時の避難方法について全校朝会や朝の会で話をした。

4 避難訓練の状況

- (1) 針原災害の避難訓練の実施
 - ア 開催期日 令和3年7月6日
 - イ 参加者 全児童、職員
 - ウ 参観者 テレビ局

5 取組の成果と課題

- (1) 成果
 - ア 今年には特に熱海土石流災害や夏の長雨による災害が発生したので、より緊張感と実感をもって、訓練に取り組むことができた。
 - イ 職員研修等で避難経路や自治会名簿引き継ぎ、引き渡し訓練等の共通理解を図ることができた。
- (2) 課題

災害発生時に備えた意識の高揚を継続して図るとともに、家庭と連携した取組を引き続き行う必要がある。